

地区別市政懇談会 当日質疑応答用紙一覧 南地区  
 平成26年11月13日(木) 南公民館  
 地区別に事前にあげられたテーマについて

	質問事項	当日の回答、及び補足等	担当課
1	南公民館はエレベーターも無く、老朽化も進んでいます。将来に向けての公民館の改修等について、どのような計画になっていますか。	<p>市内には11の公民館があり、施設の長寿命化を柱に耐用年数、劣化状況を踏まえ全体のバランスを考慮しながら計画的な整備に努めています。あわせて、危険性がある場合、公民館機能が損なわれ支障があるような場合は柔軟に対応をしています。</p> <p>南公民館は平成22年度に建物全体の耐震補強を行い、大会議室の建具や全館の照明器具、空調設備の改修工事を実施しております。平成27年度は駐車場内にある忠魂碑の移設も予定されており、それに合わせ駐車場の整備にも取り組んでいく考えです。</p> <p>今後は公共施設の利用者負担の適正化に関する方針に基づき、公民館使用料の見直しにも取り組んでまいります。これに伴い利用環境の向上のため、重点的な維持補修も必要であり、エレベーターの設置についてもその中で検討してまいりたいと考えます。</p>	生涯学習課
2	秦野駅北口の大秦ショッピングセンターの建て替えについて、具体的な内容が不明です。今後の進捗等について、説明をお願いします。	<p>大秦ショッピングセンターは建築から48年が経過し、土地の一部は市が所有していますが、民間の複合ビルです。しかし、本市最大の乗降客がある秦野駅の駅前であり、建て替えによって防犯、防災上のリスクを回避し、また、新しい建物に多くの人が行き交うようになることで商業の活性化を図ることも期待できる公共的側面があることから、建て替えに向け助言等を行っています。</p> <p>平成26年9月に「建物の区分所有等に関する法律」に基づく、建て替え決議が採決され、建て替えが正式決定しました。本市は区分所有権を保有していませんので、決議には加われませんが、土地の所有者として同意を求められ、11月6日付で同意しています。</p> <p>今後は、平成26年度末までに法令に基づく建替組合を設立し、解体工事は平成27年度、建築工事は平成28年度から29年度のかけて施工することを目標にしていると聞いております。</p> <p>現地は駅前の商業地で、近隣マンションと同程度の10階建て程度を想定していますが、現時点では確定していません。なお、公共事業ではありませんが、通常の新築される中高層建物と同様に建替組合から近隣への情報提供がされていくと思いますし、本市としても、立替組合と調整のうえ、法令に抵触しない範囲で、情報発信をしてまいりたいと考えます。</p>	まちづくり推進課

3	<p>堆肥施設の臭気問題は抜本的な解決にいたっていません。9月には施設の不具合もあり、臭気が一層強く感じられた時期があったようです。臭気測定等も行っているようですが、臭いがきついつきに計測ができていないなど、計測手法にも疑問があります。</p> <p>国や県など関係機関への働きかけを含め、解決に向けた取り組みを進めるよう要望します。</p>	<p>臭気を抑える薬剤を散布したり、化学反応によって臭気を減少させる新しい薬品を撒いたりなど、対策を行っていただいています。その散布を更に有効にするため、施設天井から、原則16時過ぎから22時までの6時間、10分に1回噴霧しながらまいっていただいています。</p> <p>今後は入口等にアコーディオンカーテンを設け車両の出入りの際に臭気が漏れることをできるだけ防ぐような対応も予定しているということです。</p> <p>御指摘のように、9月に堆肥をかく拌する装置の故障があり、また、修理部品の調達に時間が掛かり、臭気が増した事態がありました。10月下旬には通常の工程に戻った旨の報告を受け、現場も確認しています。</p> <p>臭気測定については、専門の業者に依頼して実施していますが、天気、風向きなど諸条件により異なるため、調査予定日をあらかじめ設定しても効果的な測定ができない場合もあります。このような場合は、別日程を設け、再度の調査を行うなど実効性のある測定に努めているところです。</p> <p>今後も県の畜産センター、農業技術センター等専門機関の御意見や、御指導を受けながら、堆肥施設に改善に向け要請を継続してまいりたいと考えています。</p> <p>(当日の補足等)</p> <p>平成27年2月現在、1日に扱う堆肥量を60トンから40トンに減量しています。また、かく拌機が故障したことによる発酵不十分な堆肥の処理も平成26年度中に終了しております。</p>	農産課
4	<p>震生湖の周辺整備につき、観光資源として活用をするため、ゴルフ場の跡地の利用、中井町との協議等が不可欠だと考えますが、現在具体的な進捗が見られません。震生湖の活用は南地区のまちづくりの上でも欠かせないものであると考えます。市としての今後の方針等について、説明してください。</p>	<p>震生湖周辺の土地の多くは民有地であることから、地権者の方の考え方や、隣接する中井町との調整などの課題があります。また、震生湖自体も水質面で浄化が進んでいない、釣り客が占用しているという現状があり、湖畔周辺の雑木林についても一部を除いて手入れがされていない状態です。これらの課題に取り組み、環境改善を図ることが先決であると考えています。</p> <p>具体的に平成25年度は老朽化したあずまやや子ども遊具の解体、湖面にあったいくつかの倒木の処理、案内サイン類の更新等を行いました。平成26年度は湖畔の遊歩道の環境改善を行う予定です。</p> <p>今後様々な課題の一つひとつ取り組みながら、震生湖周辺の面的な整備手法について検討をしてみたいと考えます。</p> <p>(当日の補足等)</p> <p>平成26年度は斜面地で滑り易くなっている湖畔西側の遊歩道に階段を整備し、ハイカーや観光客の安全性を確保するために環境改善を図りました。</p>	観光課

5	<p>国道246バイパスは平成26年度に伊勢原西インターから秦野中井インターまでの事業化が決まったということですが、実際に道路が出来る場所、今後の予定等について説明をお願いします。</p>	<p>国道246バイパス厚木秦野道路は圏央道と接続している厚木市中依知から西へ向かい、新東名高速道路の秦野IC(仮称)と国道246号に接続する秦野市八沢までの29.1kmの道路です。今回事業化が決まったのは、伊勢原西IC(仮称)から東名秦野中井ICまでの5.2kmです。これは現在の国道246号の善波トンネルの伊勢原側にインターチェンジ(伊勢原西IC(仮称))を作り、そこから南に向かい弘法山をトンネルで抜けて、小田急のトンネルの所で地上に出て、小田急線を超え、県道を越え、金目川を越えます。その後、現東名の北側に沿って西へ向かい上智短期大学のグラウンドを通過し、秦野中井ICの所につながります。</p> <p>今後は、事業者が具体的な測量や地質調査をするための前段階をして、地権者や関係者への説明の場を設け、その後実際に現地で測量や地質調査が行われ、さらにその後、設計、用地交渉に進み、工事に入っていくこととなります。</p> <p>完成時期はまだ未定ですが、慢性的な国道246号の渋滞解消のため、早期の整備を要望していきます。</p> <p>(※国土交通省関東地方整備局・横浜国道事務所発行のパンフレットを配布、これに沿って説明)</p>	<p>高規格道路 推進担当</p>
---	--	---	-----------------------

## 当日の質疑応答について

	質問内容	当日の回答	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
6	<p>あと8年で震生湖が誕生してから100年を迎えます。それまでには震生湖周辺の整備を目に見えるものにする必要があると考えます。これまで十数年調査ばかりで進捗が見られません。地元の自治会連合会と協力し、事業を進めてもらいたいと考えます。</p>	<p>震生湖周辺整備については、平成10年度以降、どのような観光振興策が展開できるか何回か調査を行い、説明会もさせていただいた経過もありましたが、中々具体案を提示できていない現状があります。</p> <p>一方で、周辺が里地里山である特性があることから学術関係機関の協力をいただき様々な調査を重ねた蓄積もあります。今後についても、御提案のように自治会連合会とも相談しながら取り組みたいと考えます。</p>	<p>平成27年3月上旬には地元自治会との意見交換の場を設けますので、様々な意見を伺ったうえで、今後の震生湖の観光振興にいかしてまいりたいと考えます。</p>	<p>観光課</p>

7	<p>堆肥施設の臭気問題を具体的に解決するための対策案を示してもらいたいと考えます。他の自治体の対応例など研究はされているのでしょうか。</p>	<p>他自治体の調査をしましたが、施設の形状、堆肥の作り方や成分などそれぞれ諸々の違いがあり、実効性のある参考例に乏しい状況でした。 対応としては、県の専門機関である畜産センターや農業技術センターの御意見などを聞き、臭いが出ないような手法について聞き取り、事業者に情報提供し、改善の要請をしているところです。</p>	<p>平成27年2月現在副資材としての「発行堆肥」の量を1日あたり20トンから10トンに、「水分調整剤としての戻し堆肥」も30トンから20トンに減量しました。よって1日あたりに扱う堆肥量は60トンから40トンとなっています。このことにより臭気も相当に改善されていると認識しております。</p>	農産課
8	<p>堆肥施設の臭気問題については、農政部局だけの対応ではなく、環境部局の関与も必要なのではないでしょうか。</p>	<p>堆肥施設は調整区域にあることから、悪臭防止法等、環境保全を目的とした法令の対象とはなりません。 しかし、改善に向けて関係部署との協力は必要と考えておりますので、連携を取りながら取り組んでまいります。</p>	<p>農産課と環境保全課は同じ環境産業部に属しておりますので、情報の共有はできております。</p>	農産課
9	<p>堆肥施設の悪臭は広範囲に及んでいます。現在のように峰の台自治会だけではなく、もっと広い範囲の住民を対象とした勉強会、三者会議等が必要ではないかと考えます。</p>	<p>峰の台自治会だけではなく、もっと広範囲の住民の方を対象に、開催を検討してまいります。</p>	<p>平成27年2月15日に今泉堆肥センターにおいて、南が丘自治会14名、今泉堆肥組合4名、市2名で施設を見学しながら、作業工程、対策等について説明を行いました。 自治会側からは、かく拌機に関するメンテナンスの徹底、故障時の迅速な対応などを求められています。 今泉峰の台自治会との意見交換会は2月21日に開催します。</p>	農産課

10	<p>堆肥施設で処理する量が多すぎるのが問題と 考えます。もっと量を減らせないのでしょ うか。また、攪拌装置が壊れたから臭気が 増した、と説明がありましたが、攪拌した 方が臭気が強くなる気がします。</p> <p>処理できる堆肥量の計算や、装置のこと など、市としてきちんと論理的な検証を してもらいたいと考えます。</p>	<p>扱う量については、減量を含め調整を進 めたいと考えます。</p>	<p>量については、副資材としての「発行堆 肥」の量を1日あたり20トンから10 トンに、「水分調整剤としての戻し堆肥」 も30トンから20トンに減量しまし た。よって1日あたりに扱う堆肥量は6 0トンから40トンとなっています。</p> <p>かく拌機が故障して臭気が増した理 由は、熟成が不十分な堆肥を、再び 水分調整のための「戻し堆肥」として 利用せざるをえなかったためです。</p>	農産課
11	<p>堆肥は日量5トンを超えると、産業廃 棄物処理施設としての施設許可が必要 なのではないでしょうか。</p> <p>そうであれば、できるだけ施設の移設 の方向で話を進めた方がよいと思いま す。</p>	(提案)	<p>当該施設は、「廃棄物の処理及び清 掃に関する法律」の許可が必要な廃 棄物処理施設ではありません。外から 持ち込まれる副資材についても有価 物であるとの県の判断がなされていま す。</p>	農産課

12	<p>秦野-比奈窪を結ぶバス路線が無くなると聞いたのですが、実際はどうなのでしょう。</p>	<p>バス事業者が廃止にしたい意向があることは聞いております。実際に廃止にするにはバス事業者が神奈川県的生活交通確保対策地域協議会に退出意向の申し出を提出し、県が受理した後、県が記者発表を行い正式なものになるということです。</p> <p>廃止が明らかになった場合は南地区自治会連合会長、関係自治会に情報提供し、対策等についても御相談させていただくことになります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年12月1日 湘南・県西地域分科会第1回ワーキング開催(神奈川県小田原合同庁舎)</li> <li>・平成26年12月4日 湘南・県西地域分科会設置記者発表</li> <li>・平成26年12月12日 南地区自治会連合会会長へ申出内容の説明、同日小原町自治会長へ申出内容の説明</li> <li>・平成26年12月15日 南町自治会長へ申出内容の説明</li> <li>・平成27年1月5日 南町自治会へ組回覧により住民に周知</li> <li>・平成27年1月16日 秦野市地域公共交通会議で報告</li> <li>・同日 小原町自治会住民を対象とした説明会開催</li> </ul> <p>以上のとおり意見聴取及び住民周知を行ったところ、バス路線の減便についてはやむをえないと了解を得られたものの、小学生の通学利用について意見が出され、当面は、中井町オンデマンドバスを広域利用することで、中井町と合意しています。</p> <p>今後、広報等で市民に周知する予定です。</p>	公共交通推進課
13	<p>現在上町で、湧水の関係で、ボーリング調査をしているようですが、これはどのような内容の調査なのでしょう。</p>	<p>本日、担当部署(水道局)不在のため後日、改めてお答えします。</p>	<p>南地区の金井場配水場付近にある芹沢取水場を、現在の浅井戸から深井戸へ変更し、水質の安定と水量の増加を確保するため調査ボーリングを行っています。</p>	水道施設課

14	豊富な湧水を災害時利用できるような整備を進めて欲しいと思います。	(要望)	要望として承ります。	防災課
15	まちづくりをすすめるために、過去に策定された都市計画や土地利用を現在に合ったように見直す必要があると思います。	(意見)	御意見として承ります。	まちづくり推進課
16	懇談会等で出た市民の声等は、予算等に反映されているのでしょうか。	市政懇談会や、総合計画の策定過程等においていただいた市民の方の様々な声は、反映できるものは反映し、市政に活かしていく考えです。	当日の回答に同じ。	広聴相談課
17	財源の確保策はありますか。	未収金対策や、産業活性化による税収の増加、公共施設の使用料の適正化など様々な施策により、財源の確保を図ってまいります。	当日の回答に同じ。	財政課
18	市政懇談会には副市長や部長の出席は無いのでしょうか。	市長ほか、政策部長、それぞれの担当課長等の出席で対応させていただいています。	当日の回答に同じ。	広聴相談課

19	<p>公共施設の使用料値上げは、福祉の観点からすると、矛盾していると思います。公民館で皆で活動することが健康増進等につながり、それが高齢者を元気にすることにつながっているのではないのでしょうか。</p>	<p>現在公共施設の維持管理の8割以上を、税金で賄っています。趣味活動や、健康増進のために御利用されている方もいらっしゃいますが、趣味等が非常に多様化している中、公民館を使用しない方、したくてもできない方もいらっしゃいます。公平性の観点から見直しを考えています。また、将来の市民への負担をできるだけ軽減するすることも目的としています。</p>	<p>当日の回答に同じ。</p>	<p>公共施設再配置推進課</p>
20	<p>日赤秦野病院から消防南分署がある道路で登下校する生徒も多く、安全のため、信号機の設置を警察に要望しています。市も設置に協力をお願いします。</p>	<p>信号については、県警本部の予算の中で、優先順位を付けて進めています。現在の状況について、関係課で調整し、確認をいたします。</p>	<p>当日の回答に同じ。</p>	<p>くらし安全課 学校教育課</p>
21	<p>道路管理課へ、市道650号線の補修についてお願をしています。ぜひ、できるだけ早い対応をお願いします。</p>	<p>(要望)</p>	<p>平成27年度で予算要望をしております。</p>	<p>道路管理課</p>